

社会共創学部創設10周年記念 ワークショップという手法 — 学び・創造・問題解決の作業場から —

日時

2025 7/14^{mon}
18:00-20:00

場所

愛媛大学E.U Regional Commons(ひめテラス)
1階・NP地域交流ルーム(地域交流スクエア)

開催方法

対面40名(先着順)
WEB同時配信(ZOOM)

参加費

無料

ワークショップとは、参加型学習、体験型学習と訳され、参加者が主体的に意見を出し合い、お互いに学びあう創造的学習法です。ときに、「コミュニティ形成(仲間づくり)のための他者理解と合意形成のエクササイズ(練習)」(荻宿俊文)とも称されるこの手法は、1970年代からまちづくりの過程で用いられるようになり、その種類は多岐にわたります。

2016年4月に創立された愛媛大学社会共創学部は、今年で10周年を迎えました。地域課題の解決と未来を創造する学部として、多様なステークホルダーと取り組んできた10年間には、たくさんのワークショップの現場と試行錯誤の日々がありました。今回のまちなか大学では、市民参画型まちづくり、都市・農村振興、文化・観光振興に取り組む4名の研究者が、現場での気づきを踏まえ、ワークショップの可能性と課題を議論します。皆様、ぜひご参加ください。

presenter

登壇者



Kasamatsu Hiroki

笠松 浩樹

社会共創学部地域資源マネジメント学科
(地域共創研究センター)

コミュニティ運営等でワークショップや地元学を実施。人々の何気ない発言から思いを感じ取ってつなげることを実践の基本とする。



Rupprecht Christoph

ルプレヒト・クリストフ

社会共創学部環境デザイン学科

一般社団法人FEAST理事。都市、食と農、脱成長について多様な方法の研究で生き物が共生共栄できる未来への道筋を探索中。



Matsumura Nobuhiko

松村 暢彦

社会共創学部 学部長
(地域協働センター南予センター長)

専門は土木計画、都市地域計画。市民参画型のまちづくりの実践と研究に取り組んできた。フードマイレージなど教材開発にも注力。



coordinator
コーディネーター

井口 梓
Iguchi Azusa

愛媛大学地域共創研究センター・
センター長(社会共創学部 副学部長)

申し込み方法

(令和7年7月11日〆切) 本チラシの二次元コード、又は愛媛大学地域共創研究センターHP
(<https://rcrc.cri.ehime-u.ac.jp/>)の「まちなか大学vol.2」の告知ページよりお申込みください。

問い合わせ

E-mail: rcrc_cri@stu.ehime-u.ac.jp (地域共創研究センター)
Tel: 089-927-8145 (地域協働支援部地域協働課)



主催: 愛媛大学地域協働推進機構・地域共創研究センター
後援: 愛媛大学社会共創学部創設10周年記念事業実行委員会

◀Facebook

申し込みはこちら▶

